

書名	嗚呼、元の木阿弥			著者名	中南 元伸／著			
出版社	文芸社	ISBN	978-4-286-27653-3		本体価格	¥740	発売	2026/6/8
内容	奈良町で按摩業を営む木阿弥は、大和国の武将・筒井順昭に瓜二つだったことから、病床の順昭の影武者を務めることに。正体が露見すれば命はない緊張の日々の中、次々と事件が勃発する。失踪した門跡の妾、暗躍する盗賊団、不穏な動きをする松永久秀——ばらばらの謎がやがて一つに繋がり、大和を揺るがす陰謀が姿を現す。「元の木阿弥」ことわざ誕生秘話!? 野望と思惑の痛快歴史物語。							

書名	日本書紀と神話の古代史			著者名	平林章仁／著			
出版社	志学社	ISBN	978-4-909868-26-8		本体価格	¥3,300	発売	2026/6/9
内容	編纂より一三〇〇年余、近代以降に限っても膨大な研究のあるわが国最初の正史『日本書紀』だが、いまなお未解明の重要な問題が多く存在する。本書ではそのうち、①なぜ『古事記』と『日本書紀』は並行して編纂が行われたのか、②なぜ大量の異伝(「一書曰」)を採録するのか、③王権神話はいつ頃体系化されたのかという問題につき、その理由を詳らかにする。くわえて後半では、兄妹相姦、「稲城」、「祈狩」などの古代社会に特徴的な心性の表出についても分析を行い、それらが変化する時期の仏教説話集『日本霊異記』の検討も行う。							

書名	近鉄学			著者名	福原 稔浩／著			
出版社	ワニブックス	ISBN	978-4-8470-6723-5		本体価格	¥1,200	発売	2026/6/9
内容	なぜ近鉄は、日本最大の私鉄になれたのか――。 その答えは、501キロに及ぶ路線の長さや車両数だけでは見えてこない。本書を語るのには、駅員・車掌・運転士を経て、広報として近鉄の“顔”を担い続けた元名物広報マン・福原稔浩。『ブラタモリ』や『鉄オタ選手権』（ともにNHK）にも出演し、鉄道の魅力と裏側を知り尽くした人物だ。現場と経営、そしてメディアのすべてを知る視点から、近鉄という巨大企業の正体に迫る。							

書名	マモル 天国への忘れもの			著者名	浜口倫太郎／著			
出版社	祥伝社	ISBN	978-4-396-35194-6		本体価格	¥780	発売	2026/6/10
内容	非情な夫から逃げた母子と前世の記憶を探す青年。「ゆいまーる(助け合い)」の島で彼らが果たしたのは、運命の出会いだった——。「守りたい」 真っすぐな思いが奇跡を起こす。心震わす感動作							

書名	最新考古学が解き明かす 空白の4世紀			著者名	監修：瀧音 能之			
出版社	宝島社	ISBN	978-4-299-07819-3		本体価格	¥1,264	発売	2026/6/10
内容	「空白の4世紀」と呼ばれるこの時代に、ヤマト王権は事実上の全国支配を確立させた。近年では、富雄丸山古墳から「国宝級」といわれる盾形銅鏡と東アジア最大の蛇行剣が発見され、ヤマト王権が高い工業力と経済基盤を持っていたことが明らかになってきた。また2025年には航空レーザ測量によって、奈良盆地北部に200メートル級の巨大古墳が造営されていたことも判明した。最新考古学の成果や研究をもとにヤマト王権草創期の謎を検証する。							

書名	卑弥呼VSヤマト王権			著者名	槌田 鉄男／著			
出版社	彩流社	ISBN	978-4-7791-3117-2		本体価格	¥2,500	発売	2026/6/11
内容	3世紀の邪馬台国から古墳時代への大変化は、国内の自然な発展(弥生時代の延長)ではなく、大陸から渡ってきた『扶余(ふよ)』などの勢力が深く関わっていた。本書は、のちに隠されてしまった大陸の痕跡をたどり、ヤマト王権と邪馬台国の謎を一度に解き明かす本である。							

書名	膠へのまなざし			著者名	内田あぐり／著			
出版社	国書刊行会	ISBN	978-4-336-07870-4		本体価格	¥3,800	発売	2026/6/16
内容	世界中で古くから接着剤として使われてきた『膠(にかわ)』は、伝統的な手工業による生産が途絶えてしまいました。本書は、この伝統素材を後世へ残すため、全国の職人や専門家への取材、37名の現代作家による作品、研究者の論考を収録し、その魅力と現代における役割を伝える本です。							

書名	教科書が教えない日本史の分岐点			著者名	加来 耕三／著			
出版社	扶桑社	ISBN	978-4-594-10294-4		本体価格	¥1,900	発売	2026/6/29
内容	日本の命運を分けた59の分岐点！ 神武東遷、壬申の乱、源平合戦、元寇、本能寺の変、関ヶ原の戦い、黒船来航、大政奉還、鉄道開通、日本海海戦、関東大震災、真珠湾攻撃、終戦……彼らはいかに決断したのか!? 激動の時代、歴史の叡智に学ぶ！							